

令和7年第1回明和町議会定例会一般質問事項

令和7年3月6日

5 11番 奥澤 貞雄 議員

1. 農地利用について

コメ問題が深刻になっている中、農業の進め方、新たな農業支援、後継者対策を問う。

- (1) 町の方針として今後の農業はどのように発展させていく計画なのか。
- (2) 農業後継者対策はどのような具体策を検討されているのか。今後、状況に応じた助成金の検討は。
- (3) 耕作放棄地や耕作不適合地などに太陽光発電の設置利用計画はあるか。

2. 教育の未来像について

自立する力を養うための新たなカリキュラム考察が必要であるが、町の意向を問う。

- (1) 子どもたちが自力で生き抜いていく力を付けるカリキュラムの検討は。

3. 外国人の災害時対応について

明和町在住の外国人が急激に増えている。災害時における外国人の避難誘導等について問う。

- (1) 災害時の外国人の避難誘導の対策は。
- (2) 避難所でのハラル対応は。

6 8番 本澤 春江 議員

1. 人口維持について

「人口減少社会の議会のあり方」の研修を受けて、人口減少に対する明和町の対応、移住地として選ばれる町となるために質問する。

- (1) 移住促進施策Mターンの現状は。
- (2) 空き家利用により商業を活性化できないか。
- (3) 工業団地等、町内就労者の居住地の確保ができないか。

7 5番 藤野 一也 議員

1. 多文化共生社会へ向けた取組について

2024年末時点の県内外国人住民数が、前年度比12.6%増の8万1400人あまりで過去最高を更新した。当町においても、今後新規企業の参入によりさらに雇用数が増え、外国人材の雇用や定住者も増加することが予想される。そこで、多文化共生社会へ向けた町の取組について問う。

- (1) 町内の外国籍人口の現状について。
- (2) 多文化共生社会の実現に向けた現状と課題について。
- (3) 今後の取組内容について。
- (4) こども園、小中学校における取組について。
- (5) 日本語学習支援について。